

坂井市東十郷地区 住教（共）育

見つけよう！上新庄の残したい風景



平成25年7月27日（土）実施

企画 福井県土木部建築住宅課

アルマス・バイオコスモス研究所

協力 坂井市建設部都市計画課

上新庄区

目次

1. はじめに	1
2. ワークショップ講師	1
3. ワークショップの参加者	1
4. ワークショップの内容と様子	2
5. 投票結果	4
6. まだまだ他にもある、残したい風景	10
7. 平成25年度実施 アンケート結果	11
8. 平成24年度実施 アンケート結果	13

はじめに

福井県には、日々の生活の中で培われ、地域の中で受け継がれてきた住まい・まち並み・住まい方などの優れた住環境が多く残っています。とりわけ坂井市は、「住みよさランキング」で全国3位、「裕福な街ランキング」で全国4位など、全国トップクラスの水準にあります。

ここ東十郷地区は、1,000余年を農村集落として稲作を中心に営んできている地域であり、美しい田園風景と先人の知恵が息づく農村集落・農家住宅は、地域住民だけでなく、東十郷地区を訪れる人にとってもふるさとの原風景となる重要な財産であるため、次の世代に残していくことが大事です。しかし、こうした風景は地域に住んでいる方々にとってはあたりまえの景色であり、普段はあまり気に留めないものです。

そこで今回、上新庄区の子もたちと一緒に集落内を探索し、次の世代に残したい風景や次の世代に向けて育んでいきたい風景を探し、その風景について話し合いました。その内容について取りまとめましたので、ご報告させていただきます。この報告書をきっかけに、上新庄の風景について家族や地域で話し合い、その風景を次世代に残すために必要なルールをつくるなど、今後の上新庄の地域・まちづくり活動の材料の一つとしてご活用いただければ幸いです。

ワークショップ講師

水上 聡子

工学博士

アルマス・バイオコスモス研究所 代表

(株)地域計画連合福井ワーキンググループ 代表



津田塾大学国際関係学科にて、開発社会学（地域の内発的な発展のあり方）を学んだ後、東京の都市計画コンサルタント勤務を経て、故郷で独立。市民ひとりひとりが、まちづくりに携わろうという気持ちと行動力を育むことをめざして、ワークショップの企画運営、ファシリテーション講座等を行う。福井県坂井市在住。

専門分野：市民のシティズンシップ教育のためのワークショップ手法

ワークショップの参加者

A	グループ名	うさぎの耳				
メンバー	隊長 小5男子	撮影係 小2女子	保護者 女性	引率者	福井県土木部 建築住宅課	
	記録係 小3男子	隊員 4歳女子		講師	アルマス・バイオ コスモス研究所	

B	グループ名	スーパーミラクルウルトラしらんだらえもんおじゃる丸最強チーム				
メンバー	隊長・撮影係 小5男子	記録係 小2男子	保護者 女性	引率者	福井県土木部 建築住宅課	
	記録係 小4女子	記録係 5歳女子				

C	グループ名	上新庄お宝ハンター				
メンバー	隊長 小5女子	撮影係 小3女子	保護者 女性	引率者	福井県土木部 建築住宅課	
	記録係 小4男子	隊員 小1女子		引率者	坂井市建設部 都市計画課	

ワークショップの内容と様子

1 アイスブレイク



参加者は3グループに分かれ、自己紹介とグループ名を決めました。また、グループでの役割も決めました。

2 昨年度の振り返り



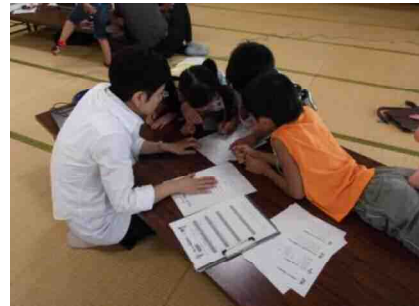
平成24年度に実施したワークショップの様子を、DVDで振り返りました。

3 昔の上新庄の様子



昔の上新庄の写真をスライドショーで紹介し、残したい風景を探すうえでのヒントにしてもらいました。

4 作戦会議



グループごとに、むら歩きをするルートを決めました。

5 むら歩き(庭見学)



とある庭を見学している一場面。大きなタブの木に手作りブランコがあったので遊びつつ、このタブの木がどういう歴史があるかを学びました。

6 むら歩き(家見学)



とある家を見学している一場面。「田の字」プランの良さや昔の暮らし方について学びました。

7 昼食



子ども会役員の方が朝から仕込んでくれたカレーを美味しくいただき、午後からのワークショップに備えました。

8 グループワーク



むら歩きで撮影した写真を見て、残したい風景についてグループで話し合い、まとめました。

9 残したい風景の発表



グループで話し合っって選んだ6~7つの風景について、「どう良かったか」「どうすると残せるか」を発表しました。

10 残したい風景の投票



良いと思った風景を1人につき3つ選び、投票しました。

11 感想・講評

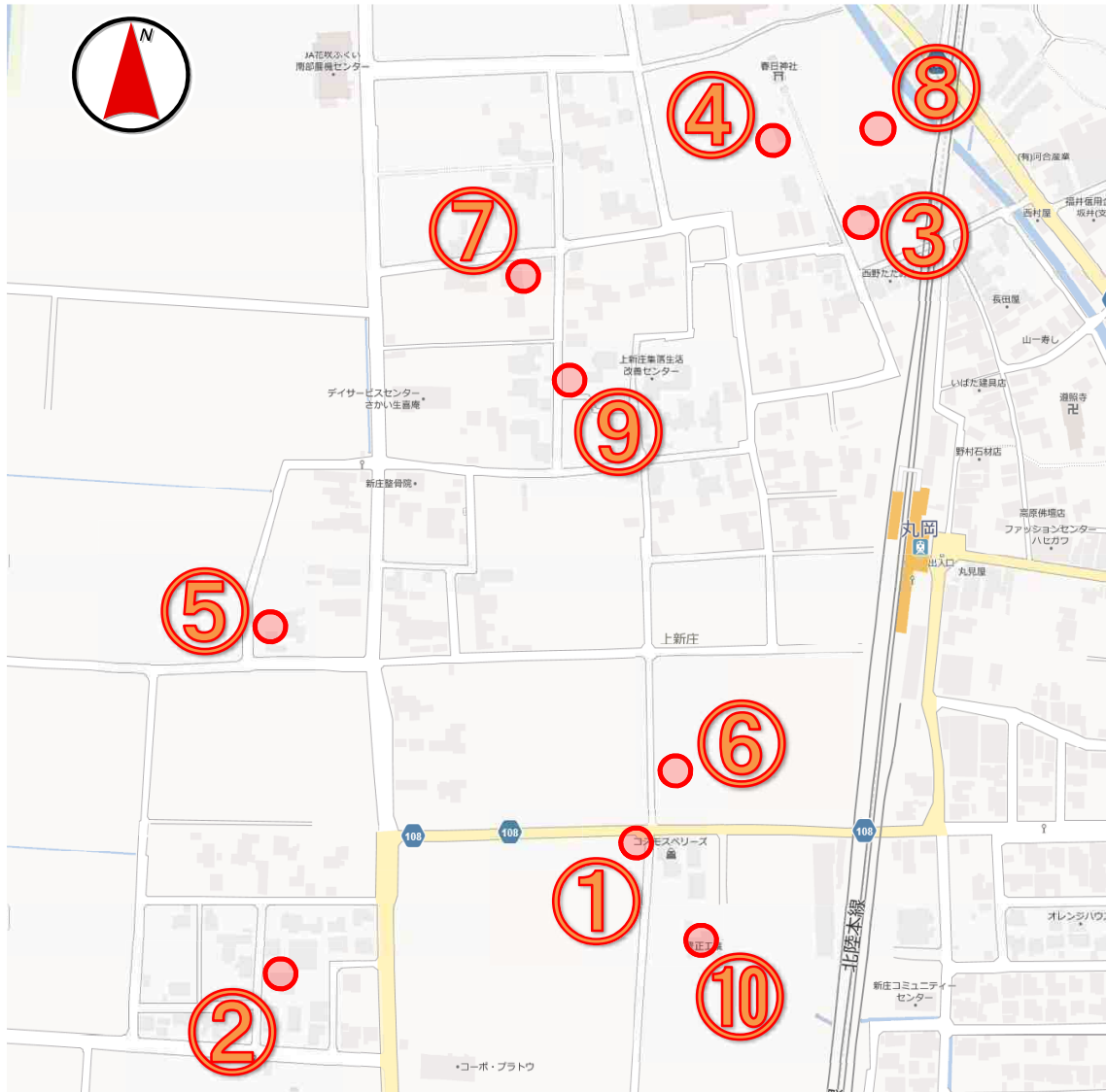


左 Cグループ（上新庄お宝ハンター）が選出した風景
右 Aグループ（うさぎの耳）が選出した風景




Bグループ（スーパーミラクルウルトラしらんドラえもんおじゃる丸最強チーム）が選出した風景

投票結果



投票結果一覧

順位	タイトル	位置	選定グループ	子ども票	大人票
第1位	上新庄の田んぼを守る人	①	B	10票	0票
第2位	木登りができる大きな木	②	A	6票	2票
第3位	西日を遮るすだれ	③	C	5票	1票
第4位	春日神社の鹿の銅像	④	C	3票	1票
第4位	タブの木	⑤	C	0票	4票
第4位	上新庄の田んぼ	⑥	A、B	0票	4票
第7位	鬼の顔をした魔除け	⑦	B	2票	1票
第7位	田の字づくりの部屋	—	B	0票	3票
第7位	太陽光発電	②	B、C	0票	3票
第10位	春日神社の原っぱ	⑧	C	2票	0票
第10位	稲の花	⑥	A	1票	1票
第10位	しめ縄をしたご神木	⑦	A	0票	2票
第13位	昔風の壺	⑨	A	1票	0票
第13位	緑のカーテン	⑦	B	0票	1票
第13位	落雪に配慮した屋根	⑩	C	0票	1票

第1位	上新庄の田んぼを守る人	位置	①	
		選定グループ	B	
		合計票数	子ども票	大人票
		10票	10票	0票
		なぜ良いのか		
		お米を作ってくれてありがたいから。		
		どうすれば残せるか		
		これからも坂井平野の田園を守って欲しい。		

第2位	木登りができる大きな木	位置	②	
		選定グループ	A	
		合計票数	子ども票	大人票
		8票	6票	2票
		なぜ良いのか		
		ツリーハウスが作れそうだから。		
		どうすれば残せるか		
		切らないで大事にとっておく。		


第3位	西日を遮るすだれ	位置	③	
		選定グループ	C	
		合計票数	子ども票	大人票
		6票	5票	1票
		なぜ良いのか		
		夕方の太陽を遮って、部屋の中心が涼しくなって快適だから。		
		どうすれば残せるか		
		すだれの良さをみんなに教え、設置してもらうように呼びかける。		

第4位	春日神社の鹿の銅像	位置	④	
		選定グループ	C	
		合計票数	子ども票	大人票
		4票	3票	1票
		なぜ良いのか		
		<p>水が無いと田んぼはできないので、鹿が川（十郷用水）を作ってくれてありがたいから。</p>		
		どうすれば残せるか		
		<p>友達や親戚に十郷用水の伝説を話す。</p>		

第4位	タブの木	位置	⑤	
		選定グループ	C	
		合計票数	子ども票	大人票
		4票	0票	4票
		なぜ良いのか		
		<p>福井地震があった時に、家が倒れるのを防いでくれてありがたいから。また、タブの木の木陰は涼しいから。</p>		
		どうすれば残せるか		
		<p>みんなで協力し合って、落ち葉を拾ったりお手入れをする。</p>		

第4位	上新庄の田んぼ	位置	⑥	
		選定グループ	A、B	
		合計票数	子ども票	大人票
		4票	0票	4票
		なぜ良いのか		
		<p>田んぼが昔からそのまま残されている上新庄らしい風景だから。</p>		
		どうすれば残せるか		
		<p>田んぼを埋め立てて家や建物を建てないようにする。</p>		

第7位	鬼の顔をした魔除け	位置	⑦	
		選定グループ	B	
		合計票数	子ども票	大人票
		3票	2票	1票
		なぜ良いのか		
<p>怖い顔なので不審者やどろぼうを追い払いそうで役に立つから。また眉毛がパンに似ていて面白いから。</p>				
どうすれば残せるか				
<p>みんなの家に1つずつ置いてもらえるといい。</p>				

第7位	田の字づくりの部屋	位置	—	
		選定グループ	B	
		合計票数	子ども票	大人票
		3票	0票	3票
		なぜ良いのか		
<p>戸を外せば一つの部屋になるので、たくさんの人が集まって葬式や会議ができるから。</p>				
どうすれば残せるか				
<p>いろいろな行事に活用することで、良さを知ってもらう。</p>				

第7位	太陽光発電	位置	②	
		選定グループ	B、C	
		合計票数	子ども票	大人票
		3票	0票	3票
		なぜ良いのか		
<p>太陽の光を利用して電気を作っていて、地球を大切にしているから。</p>				
どうすれば残せるか				
<p>ずっと使うと買った時の費用よりも発電した電気代が上回るなど、太陽光発電の良さを設置している人がみんなに伝える。</p>				

第10位	春日神社の原っぱ	位置	⑧
	選定グループ	C	
	合計票数	子ども票	大人票
	2票	2票	0票
	なぜ良いのか		
	昔はうさぎがいたから。		
	どうすれば残せるか		
遊具があると、みんなが遊べるから残していきたいと思う。			

第10位	稲の花	位置	⑥
	選定グループ	A	
	合計票数	子ども票	大人票
	2票	1票	1票
	なぜ良いのか		
	小さい花でとってもきれいだから。		
	どうすれば残せるか		
田んぼを手伝うことができるときは手伝う。			

第10位	しめ縄をしたご神木	位置	⑦
	選定グループ	A	
	合計票数	子ども票	大人票
	2票	0票	2票
	なぜ良いのか		
	ご神木にしめ縄があるので、神様が宿っている感じがするし、いつも見守られている感じがするから。		
	どうすれば残せるか		
木を切らないなど、大切に育てていく。			

第13位	昔風の壺	位置	⑨	
		選定グループ	A	
		合計票数	子ども票	大人票
		1票	1票	0票
		なぜ良いのか		
		不思議がいっぱいで、調べたら面白そうだから。		
		どうすれば残せるか		
		大切に保存する。		

第13位	緑のカーテン	位置	⑦	
		選定グループ	B	
		合計票数	子ども票	大人票
		1票	0票	1票
		なぜ良いのか		
		夏になるとゴーヤが成長して、自然のカーテンとなって太陽の光を遮ってくれ、家を涼しくしてくれるから。		
		どうすれば残せるか		
		緑のカーテンをしている人が村の人に良さを教えてあげる。		

第13位	落雪に配慮した屋根	位置	⑩	
		選定グループ	C	
		合計票数	子ども票	大人票
		1票	0票	1票
		なぜ良いのか		
		雪が落ちるようになっていて便利だから。		
		どうすれば残せるか		
		普通の家でも雪を溶かしたり落とすようにするといい。		

まだまだ他にもある、残したい風景

残したい風景には残念ながら投票されませんでした。風景として残していくといいのではというものを一部紹介いたします。

庭でのブランコ遊び



庭の木に手作りブランコを取り付けば、子どもたちが遊べる空間に。子どもたちには遊びの中で自然に触れてほしいですね。

井戸



昔は水道がなく井戸水を使って生活していました。現代は蛇口をひねれば水が出てきますのでありがたみは感じにくいけれど、災害時の断水の際は活躍しそうです。

縁側



縁側は、家の内と外をつなぐ場所であると同時に、家族と地域住民との交流の場でもあります。

家庭菜園



昔は、畑のトマトをおやつ代わりに食べるというのが当たり前でした。もぎたてトマトのおいしさは格別です。また、畑にできる野菜で季節を感じたものですね。

生垣



道沿いには生垣が綺麗に植えられています。この道を通る人は穏やかな気持ちになれることでしょう。

屋敷林



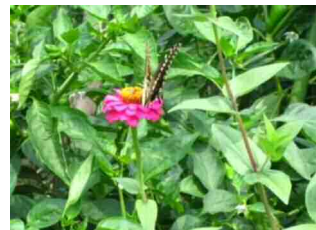
屋敷林は風から家を守るためのものですが、夏場は太陽の日差しを遮ってくれます。屋敷林の外では34度でしたが、中では28度。6度の温度差は大きいです。

キノコを育てている原木



木の幹を切って作っているので、野生のキノコみtainな味なのかも？

百日草にとまる蝶



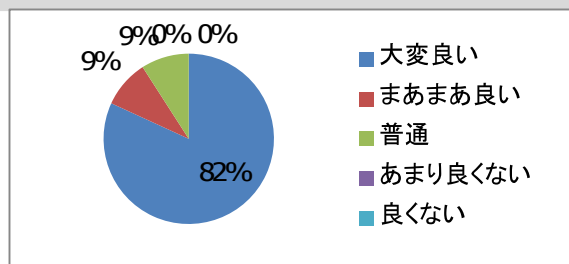
蝶の色と花の色がきれいで、見ているだけで優しい気持ちになれます。

平成25年度実施 アンケート結果

Q1. むら歩きをして、上新庄の集落景観についてどんな印象を持ちましたか？

(全員に質問、選択式)

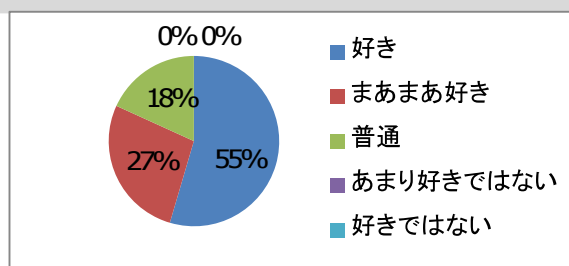
選択肢	子ども	大人
大変良い	6	3
まあまあ良い	0	1
普通	1	0
あまり良くない	0	0
良くない	0	0



Q2. 上新庄の集落景観は好きですか？

(全員に質問、選択式)

選択肢	子ども	大人
好き	4	2
まあまあ好き	1	2
普通	2	0
あまり好きではない	0	0
好きではない	0	0



Q3. 上新庄の集落景観についてQ1、Q2のように思うのはなぜですか？

(全員に質問、記述式)

- ・ 福井の歴史や価値が色々と混ざり合い、人工的自然と天然の自然があるところが良いと思うから。(大人)
- ・ 昔ながらの集落景観や田園風景が残っているから。(大人)
- ・ 庭に自然がいっぱいで、空気がおいしく感じるから。(大人)
- ・ 住み慣れた町だから。(大人)
- ・ 田んぼがある上新庄らしい風景が美しいから。(子ども)
- ・ それぞれのおうちに緑がいっぱいできれいだから。(子ども)
- ・ 昔のおうちや大きな木など、上新庄にしかないものだから。(子ども)
- ・ いろんな風景があってきれいだから。(子ども)

Q4. 上新庄の良い風景を残したり育んだりするためには、何が大事だと思いますか？

(大人に質問、記述式)

- ・ 残そうと思う人、住み続ける人の育成。
- ・ 子どもへ上新庄の良さを伝えていくこと。
- ・ 変化は必要だし、このままずっとというわけにはいかないが、30年後にも「こんなふうだったんだね」と思い出せるように、記憶に残したい。
- ・ 住民が良い風景を「残したい」という意識を持つこと。

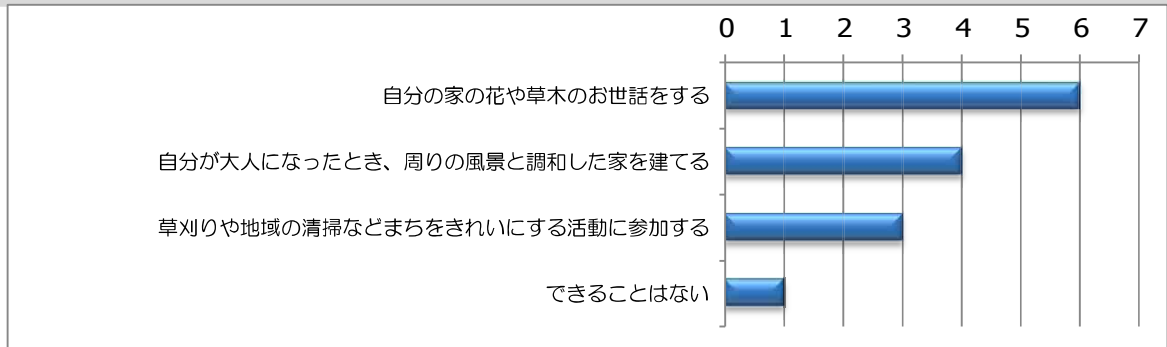
Q 5 . 上新庄の美しい景観・地域づくりのため、あなたがしてみたいことは何ですか？

(大人に質問、記述式)

- ・ 子どもたちに先人の知恵を伝えていくこと。
- ・ まずは子どもたちと一緒にどんなことができるか、どんなことをしてみたいか考えてい。

Q 6 . 良い風景を残すため、あなたは何ができますか？

(子どもに質問、複数選択式)



Q 7 . 今日発見したこと、ためになったことなどを書いてください。

(子どもに質問、記述式)

- ・ 今日、気持ちの良い庭や畑の風景を見られてよかった。
- ・ お花や木を大切にすることということを学んだ。
- ・ 稲の花など初めて見るものがたくさんあった。

Q 8 . 本日のご感想やご意見等についてご記入ください。

(大人に質問、記述式)

- ・ 子ども会以外の人にも本当は参加していただいて、子どもと地域について考えて、残していこうと思えるともっとよかったので、もっと地域の方に積極的に声が掛けられると良かった。
- ・ いろいろな上新庄の良さを知れてよかった。
- ・ 昨年、今年と参加して、今まで知らなかった上新庄の良いところが発見できた。
- ・ 福井県の事業は2箇年だと聞いた。とても良い取り組みなので、来年以降は自分たちで継続して行っていきたいと思う。

平成24年度実施 アンケート結果

Q1. ワークショップに参加して、何が楽しかったですか？

(子どもに質問、記述式)

- ・ 普段入れない家へ入って、木に登ったりその家の独特なものなどを見つけたり触ったりしたこと。
- ・ 上新庄の中をいろいろ探検することが楽しかった。

Q2. ワークショップに参加して、何が勉強になりましたか？

(子どもに質問、記述式)

- ・ 神木の名前が「タブの木」だということ。
- ・ タブの木の皮が染料になること。
- ・ 上新庄にはとても大切なものや自然がたくさんあったこと。
- ・ 大きいおうちがいっぱいあったこと。

Q3. ワークショップに参加して、何が参考になりましたか？

(大人に質問、記述式)

- ・ 庭に木があるととても過ごしやすい。
- ・ 人と自然はとても必要な関係だと思った。
- ・ ほんの近所を探検しただけだが、見えていなかったものに色々気付けた。
- ・ 昔ながらの家にある歴史を感じた。
- ・ 瓦の様子も興味深いものがあった。
- ・ 地域や土地柄にあった生活スタイルに合わせることが大事。
- ・ 今はアパートに住んでいるが、庭の大切さが参考になった。
- ・ 木々の影はとても涼しく、エコに繋がると言われていることが実感できた。
- ・ 昔の日本の建物の工夫が分かり、わが家を説明することができそうだ。

Q4. 子どもたちの活動を見て、どう感じましたか？

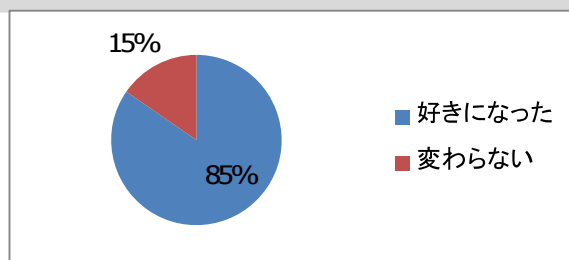
(大人に質問、記述式)

- ・ あちらこちらと周りを見ながら町内をじっくり観察することは良いこと。
- ・ 入ったことのないお宅の庭や中を見せてもらって、とても楽しそうだった。
- ・ 自分たちの住んでいる上新庄について自分たちでうまく新聞を作って感心した。
- ・ 思ったよりワーキングを楽しんでくれたことが親として嬉しかった。
- ・ 自然が多いところだけど自分たちの家で立派な木などに触れる機会がないので、楽しそうだった。
- ・ 木登りをしたり花や虫などを見つけたりすると、とても楽しそうだった。

Q5. ワークショップに参加して、上新庄のことが以前より好きになりましたか？

(全員に質問、選択式)

選択肢	子ども	大人
好きになった	7	4
変わらない	1	1



Q6. ワークショップに参加してのご感想やご意見をお聞かせください。

(全員に質問、記述式)

- ・ 他にも上新庄で珍しい家や物を見つけたい。(子ども)
- ・ 子どもたちの好奇心を沸立て、行動させてくれる進め方に感心した。(大人)
- ・ 知っている道や景色をもう一度意識して実際歩いてみることで、こんなにも得るものがあるのかとびっくりした。(大人)
- ・ 村の人たちに声をかけ、コミュニケーションを取れたことが良い思い出になることだろう。(大人)
- ・ 村の人と話したり、歩きなれた道を風やにおいを気にしながら改めて歩いてみて、たくさんの”みつけもの”をしていたこと自体がうれしい光景だった。(大人)
- ・ 子どもが知らないことを、子どもに伝えていきたいと思った。(大人)
- ・ 年に1回、こんなウォーキングもいいなと思った。(大人)
- ・ こういう住教育の取組みがあることを、もっと広くの人に知ってもらいたい。(大人)
- ・ 身近に参加できた今回はありがたかったし、また参加したい。(大人)
- ・ エコという言葉をよく聞くけど、今回訪問した2軒のお宅は家全体でエコだと感じることができた。とても涼しかったし、心が穏やかになれそうな気がした。(大人)
- ・ とても長い時間をかけて取り組んで考えなくてはいけないことだけど、少しずつみんなが「住教育」について学ぶと、将来の日本の住まいはとてもいい家になっていくのではないかと思う。(大人)

平成24年度に作成した「上新庄魅力発見マップ」



福井県土木部建築住宅課

住所	〒910-8580 福井市大手3丁目17番1号
TEL	0776-20-0505
FAX	0776-20-0693
E-mail	kenju@pref.fukui.jp